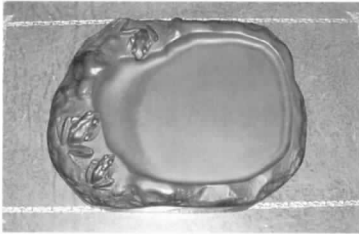


春季特別展 4月26日(土)～

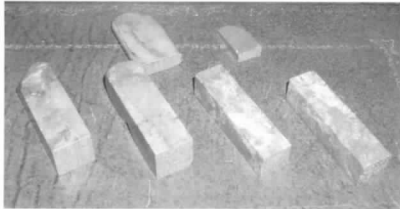
「名品に親しむ」文房具展」開催

古代から続く文化は、文字が発明され、記録されることによって、後世に伝わってきました。人間の歴史と文化は、まさに文房具とともに歩んできたと言っても過言ではないでしょう。

「文房具」という言葉は、今では「筆記用具」と同じ意味で用いられる場合がほとんどですが、「文房」というのは、もともと中国における文人の書斎のことをいいます。つまり、本来「文房具」とは、書斎で使われる道具全般のことであり、「文房四宝」といわれる紙・筆・墨・硯(すずり)のほか、筆筒(筆立て)、筆架(筆置き)、注水具、印章、文鎮や机・筆筒をはじめとする各種調度品など、さまざまな道具類が含まれます。とくに中国では、文房具は古来より知的な生活を送るための重要なアイテムであり、それが使用されるスペースである文房(書斎)とともに、高雅な精神を象徴するものとして捉えられてきました。そのため、各時代の文人たちによって良質良材が求められ、数多くの佳品が生まれて現代に伝えられています。人間の文化とともに歩んできた文房具のなかでも、特に優れた芸術品としての価値をあわせもつ名品を、市内在住の収集家の所蔵品を中心に紹介する特別展「名品に親しむ」文房具展」を開催いたします。



あまはたかじか
雨端河鹿硯



いんざい けいけつせき
古印材「鶏血石」(中国清朝)

※印材・・・
彫刻して印鑑をつくる材料のこと。



ぶんしんしょう
紛彩松竹梅陶製筆筒(中国清朝)

会期	4月26日(土)～6月22日(日)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
休館日	毎週月曜日・第三火曜日・祝日の翌日
観覧料金	
一般	600円(420円)
高校・大学生	400円(280円)
小・中学生	200円(140円)
	()内は20名以上の団体料金です。

問合せ先

都留市博物館「ミュージアム都留」
☎(45)8008・☎(45)8608
分館増田誠美術館(ふるさと会館2階)
☎(45)4111

開催中!

佐藤重雄・組子の名品展

4月13日(日)まで

城下町奉行だより

「どろぼう捜査にご協力を」

最近の泥棒は、来日外国人などによる組織的な金庫破り、ピッキングによる空き巣や自転車で通行中の女性を狙ったひったくりなど、住民に不安を与える身近な犯罪が多発しています。

これら事件の犯人を検挙して事件を解決するためには、犯罪捜査に対する住民の皆さんのご理解とご協力が欠かせません。

どろぼう被害にあった時は散らかされた室内などを片付けず、泥や汚れを拭いたりせず被害にあった時の状態のまま、最寄りの警察署または交番に届け出てください。

また、犯人は下見をしたり、見張りを置いたり、自動車を利用したりしていますので、『被害に遭う前や犯行の時間帯に見慣れない人や車を見た』という情報も是非警察にお寄せください。

皆さんの街を『犯罪のない安全で住みよい街』にするためにご協力をお願いします。

問合せ先

都留警察署 ☎(45)01110